

9/28 函新

「農業宮む道民魅力的」

「空想の森」 函館で上映会 田代監督が撮影秘話



十勝管内新得町で農業を営む人にスポットを当てたドキュメンタリー映画「空想の森」（2008年）の上映会が27日、函館市湯川町の市民会館で行われた。市民ら約200人が来場。来函した田代陽子監督は「魅力的な身近な人を撮りたかった」と作品への熱い思いを語った。

映画は道外から新得町に移住し、共働学舎で子育てしながら野菜を作る二十代の女性と夫、1970年代に京都から入植し、子どもが独立後も農業を営む夫婦それぞれの生

活を追った。自然と向き合っ
て暮らす家族の有り様がスク
リーンに映し出されると、来
場者は興味深そうに見入って
いた。全3回の上映後には、
毎回田代監督によるトークも
行われた。

2回目のトークで田代監督
は「北海道で彼らと出会い、
おいしい野菜を食べて一緒に
仕事し、農業について初めて
深く考えた」と振り返り、「約
10年掛けて撮影し、一度まと
めたが『物語』を作ろうと再
編集した。被写体の意見を聞
きながら一緒に作ってきた」
と作品作りの苦勞を語った。

函館市の主婦泉光子さん
（69）は「登場する人皆が素手
で土と対話して野菜を作って
いて感心した」と話していた。

29日午後1時から森町の
ハル小屋（赤井川252）で
も上映される。（新目七恵）